

経営学委員会・総合工学委員会合同 サービス学分科会
サービス学の教育実装に関する小委員会 （第24期・第1回）

議事録

1. 日時 平成30年7月18日（水）12:15～13:15
2. 会場 日本学術会議5階5-D
3. 出席者 鈴木久敏、柘植綾夫、椿広計、西尾チヅル、平田貞代
（五十音順、敬称略）
欠席者 大倉典子、山本昭二（五十音順、敬称略）
4. 議事概要
 - 1) 役員の推薦
 - ・小委員会の役員について自薦、推薦を求めた結果、分科会委員長から推薦の通り委員長に山本昭二、副委員長に鈴木久敏、幹事に平田貞代の各連携会員を充てることを承認した（当日欠席された山本連携会員は事前に承諾済み）。
 - ・委員長欠席のため副委員長を議長として議事を進めることにした。
 - 2) サービス学の位置付け
 - ・「社会課題解決起点」、「リベラルアーツの新たな支柱」等が考えられる。
 - 3) サービス学の実装
 - ・参照基準を土台にサービス学の体系を作る必要がある。
 - ・統計学に関して、参照基準を作った後、データサイエンス・コース設立に至った経緯は、サービス学教育実装の参考となる部分がある。
 - 4) 参考情報の共有
 - ・データサイエンス・コース立上げに関して、以下の情報を共有した。
 4. 1) 統計教育大学間連携ネットワークプロジェクトの概念図
<http://www.jinse.jp/old/system.html>
 4. 2) 文科省プロジェクト終了後の活動 <http://www.jinse.jp>
 - 5) 議事要旨の承認方法

今後の議事要旨の承認方法については、委員間で回覧の後、微修正等については委員長、または、副委員長に一任とする旨が承認された。
 - 6) 次回の開催
 - ・2か月に1回程度の開催が望ましい。
 - ・山本委員長が上京しやすい日程を優先し、9月頃に、第二回小委員会開催日時を決定する。

以上